

平成30年度 第1回 MCT放送番組審議会

日 時：平成30年5月15日（火）午前10時30分～

場 所：MCT 2階会議室

出席者（敬称略）

（番組審議委員会）

山崎 亨 山内 庸子 井之上 文 野村 和人 古川 理沙 大山 隆弘

（MCT）山口 俊樹 末重 聡 池田 寿弘 岸川 真也 小松 真也 豊倉 哲也

（書記）中村 有佐 脇園 京介 永奥 里奈

番組審議（1）2018年4月23日放送「わっぜかTV」より

- ・GWオススメ！大隅の物産館特集（前編・後編）
- ・アニまーるあつまーる（ペット紹介のミニコーナー）
- ・その他、道の駅紹介
- ・ゲスト「霧島ガーデンプレイス」

（2）2018年3月・4月放送「新霧島放浪記」より

- ・西郷どんゆかりの地ツアー（前編・後編）

山崎委員長

DVD拝見しました。今回は「わっぜかTV」と「新霧島放浪記」を審議します。私は2タイトルとも独創性があり面白い番組だと思っています。「わっぜかTV」のパイナップルつばささんの入りがうまくなりましたね。

印象的だったことや面白いキーワードなど意見があればお願いします。

古川委員

とても面白いと感じながら拝見しました。ツイッターもフォロワーが増えていて良い傾向だと感じました。しかし「わっぜかTV」の投稿が「不適切なツイート」になっていて見ることができず、ツイートを表示するための設定を毎回しないと見ることはできません。

岸川係長

デバイスによってそのような不具合が出ているみたいで、投稿自体が不適切なものになっているわけではありません。現在調査中です。この問題は改善済み

古川委員

どのような言葉ではじかれるのかを調べて見るのも手かもしれませんね。

山崎委員長

番組内容は安心して見られるようになりましたね。「わっぜかTV」は成長したと思います。MCの言葉の表現もよくなっています。大山さんいかがでしたか。

大山委員

言葉の表現は難しく、ちょっとした表現でもユーザーからクレームが来ます。私はラジオをやっていますが、一般のゲストの方に対しても言葉づかいに関しては予め指導するなど気を付けています。しかしローカルメディアなので地域を盛り上げるためにあまり堅苦しい雰囲気にならないようにしています。ケーブルテレビは普段見ていませんが、今回DVDを拝見して「わっぜかTV」は良く構成が出来上がっていて面白かったです。地域の情報を掘り下げていき、視覚的に発信することはやはり良い事だと思いました。

山内委員

パイナップルつばささんのナレーションが聞きやすくなり、スタッフとの掛け合いも良くなっていて民放にも劣らないと思いました。道の駅を紹介するコーナーでは全体を示すマップが欲しいと思いました。モニターにマップが映っていましたが、それをどこかのタイミングで画面にも出してもらえれば、宮崎とか近隣の方は日帰りでも行こうと感ずるのではないのでしょうか。道の駅でロースカツを食べる時にご飯のお椀を持って食べていたので、井なのかなと感じました。ロースカツをメインで見せるためご飯はいらぬのではないかと感じました。道の駅までの所要時間を「どこから何分」と表記する際は基準をわかりやすくすると良いのではないですか。

井之上委員

道の駅の情報として、この時間が空いているなどの情報があってもいいのではないですか。動物紹介のコーナーはミニコーナーで見やすくとても良いと感じました。一視聴者として見るにはちょうどいい時間配分でまた見たいと感じる内容でした。

野村委員

気になった点が「アニマルあつまーる」のコーナーで、つばささんのナレーションと飼い主のインタビューが同じだったので2回聞いたように感じました。SNSについては、どのような投稿の時にどのような反応があるのかデータにして整理するのも良いのではないかと感じました。

山崎委員長

次は「道の駅特集」前編後編あわせて総合的な意見をお願いします。

古川委員

メモをとれるような時間配分で良いと感じました。前編の最後にこの後にまだ情報があるというコメントも気が利いていて良かったと思います。アクセスの情報も最後の方で紹介していたので気軽に行こうと思える内容でした。

山崎委員長

場所的などころ、特徴、食の専門的な知識、そういう観点から見てもとてもいい番組だと私は評価しました。

「アニマルあつまーる」に関して意見はございますか？

井之上委員

今後もこのコーナーが続くのであれば出演者募集の窓口が分かるようにすると良いと感じました。

小松主任

DVDでご覧いただいた回から改善しまして、現在放送分から出演者募集の窓口の情報を用意しました。

山崎委員長

犬や猫を番組で紹介するのは見る側も作る側も精神的に良いと感じました。

ペットを可愛いがる人は自分の事のように大切にしますからね。

次は「きりしまガーデンプレイス」の紹介がありました。催し自体もとても面白いものと感じましたがこれに関して意見をお願いします。

山内委員

当日見に行きましたが、とても人が多かったですね。若い方が運営していて、街の活性化につながる良いイベントだと感じました。

山崎委員長

MCTのイベントの取り上げ方は「こういう催しがありますよ」と情報発信を市民のためにサービスしていると感じました。

品性のある番組を作成していくために、街づくりの情報発信もとても大事だと感じました。

古川委員

番組は途中から見る人もいるので、開催日時などの情報がずっと出ているのはとてもいいと思いました。

今回大事な情報は、画面の邪魔にならない所にずっと出ていたので良かったです。

山崎委員長

次は「新霧島放浪記」の審議です。ギャグが入っていたり型破りといいますか、大変おもしろく感じました。

山内委員

全体はとてもうまくまとまっていますが、今回の企画が大河ドラマ「西郷どん」を主体にしているのか、歴史上の西郷隆盛を主体にしているのか分からない点と、サイコロでゆかりの地を巡るのは分かりましたが、離島を除くなどの補足説明があれば良かったと思いました。歴史が好きな方は気になるのかもしれませんが。

大山委員

これはバラエティー番組であって一般の人は気にしないと思います。

示現流の場面は面白いが、スタッフと出演者の会話のやりとりが長く感じました。そして各地の情報をしっかり伝えてほしいと思いました。会話のやりとりは長く感じました。

井之上委員

会話のやりとりは確かに長く感じました。前編・後編分けて見ても、会話劇が長かったと感じました。

大山委員

ロケ地は良かったですが、その地の情報をしっかり紹介してほしいです。

古川委員

番組を途中から見る人のためにマップで行った所に印を付けたりすると分かるのではないかなと思いました。

山内委員

食事券や宿泊券などを取り入れたのは良かったと感じました。

井之上委員

何故一休さんというキャラクター設定なのでしょう？

豊倉社員

一休さんが児童推奨アニメということで、大人だけでなく子どもにも見てもらえるように演じて

もらっています。

山内委員

番組最後のプレゼント応募締切が書いていなかったです。

豊倉社員

この番組は全国で放送されており、局ごとに放送タイミングが違うため、締切をあえて付けておりません。

会話劇や、ロケ地の情報に関してですが、わざわざTVの方できちんとMCを取り入れ尺の管理をしており、テロップやゲストを招き地域の情報も出しているのも、新霧島放浪記の方では差別化した作り方をして脱力した観点で見て貰えるように制作しております。

古川委員

出演者とスタッフの辛口のやり取りは、お互いに信頼関係があって見ている側も安心して見ることができました。

野村委員

この番組は番組審議会として審議しにくい内容でもありますね。

豊倉社員

番組を以前から見ている方はお分かりだと思いますが、クオリティーは回を重ねる度に上がっていると自負しています。全国で放送されている番組で、全国の方のみならず地元の方にもこのような面白い番組があるとアピールできていると思います。制作人数が非常に少なく機材も必要最低限の中、ロケ自体もとても過酷でスタッフも出演者も大変な思いをしています。しかし、そうすることで映像に人間性や緊張感を演出できているのではないかと考えております。

山崎委員長

番組冒頭の遅刻の問題で、スタッフと出演者が慣れ慣れしく、同級生みたいなやりとりがありますが高橋一休さんの素性が分かりませんでした。吉本興業などの芸人かと思いました。登場人物に関して、視聴者になぜ出演者がこの人なのかというのが分からないのではないかと感じました。エリアを分けてサイコロで同じエリアにまた行くというのと、チケットを取り入れたアイデアは凄いと感じました。番組自体は稚拙なものも確かに感じましたが、他の番組には見られない可能性を感じました。番組中にあった「薩摩兵児謡」（おどま薩州）が、いかにもな鹿児島を取り入れていて、それを笑いに変えているのはとてもいいものだと感じました。ただ、先ほど言いました通り出演者とスタッフの関係性が分からなかったのも、何故このようにお互いに馴染んでいるの

か疑問でした。

それでは全体でまた何かご意見がありましたらお願いします。

岸川係長

今年も7月に高校野球鹿児島大会の生中継を実施するのですが、地元の高球児を地域全体で応援し盛り上げる気運を作りたいのですが、何かアイデアはございませんか。放送部としても以前から試合の生中継や、事前取材、広告の募集など様々な取り組みをしておりますが、皆さんの目線でご意見いただければと思います。10年後に地域全体で応援できるような体制ができれば理想であると感じております。

大山委員

みんなで盛り上げるというのは綺麗ごとですね。それはとても難しいと思います。広報を如何にしていくか、それは企業努力次第ですよ。放送内容を録画で後から見るのは可能ですが、リアルタイムで見る人はまずいないと思います。

山内委員

試合日程は決まっているわけですから学校の横断幕みたいに「高校野球MC T生中継」の看板を出すのはどうでしょうか。信号待ちなどで私も見ますので、みなさんも気になって見ると思います。

大山委員

チラシに載っている女性はなぜセーラー服なのですか。高校野球生放送の情報よりもそれを見ますよね。

古川委員

プロ野球に各チームの応援カラーがあるように、高校野球も広報する際のカラーを統一することも一つの方法ではないか。そういったものを取り入れて10年かけて盛り上げていくために関わっていない人も巻き込んでいくようなものを作ればよいのではないのでしょうか。

野村委員

選手の出身中学校をアピールすると応援しやすくなるのではないのでしょうか。

山崎委員長

またアイデアがありましたらMC Tに連絡していただければと思います。
それでは時間になりましたのでここで審議の方を終了します。

